

学生企画見学会の系譜

YOKOHAMA National University Department of Civil Engineering
A genealogy of student-planned tours

● What is 学生企画見学会？

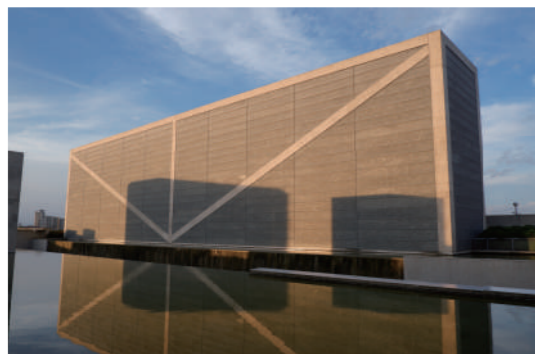
2015年秋、教員と有志学制による「見学会マネジメントチーム」が発足しました。以来、年に2回（春・夏）に学生企画見学会を開催し、土木工学教室の誇るべき伝統として受け継がれてきています。ところが20年、21年は新型コロナウイルスの影響により、企画はされたものの延期となり、のちに中止となってしまいました。しかし、この逆境を乗り越え、22年春に北関東見学会を、夏には宿泊を伴った関西見学会を実施することができました。直近では23年3月に愛知県・岐阜県を舞台に、水をテーマとした東海見学会を実施しました。

● 2019年夏以降の学生企画見学会の記録

2019年の夏から現在にかけて開催された4つの学生企画見学会を写真とともにご紹介します。

📍 関西見学会 (2022/夏)

関西で行われている新規と維持管理のプロジェクトに注目しました。新規事業では、JR大阪駅のうめきたエリア（地下トンネル）や新名神高速道路の高槻・枚方の高架橋を見学しました。また、約3年間の通行止めを行って橋梁を架け替えるという大規模なリニューアル工事が行われる阪神高速道路の喜連瓜破橋梁を見学したほか、阪神淡路大震災の震災資料保管庫や狭山池ダムでは、関西地方がこれまで歩んできた歴史を学びました。



📍 北海道見学会 (2019/夏)

広大な北の大地の中でも道央エリアの土木に注目した見学会でした。1日目には望月寒川放水路や土木偉人・廣井勇の功績である小樽港、2日目には北海道新幹線の延伸区間である倶知安—新小樽（仮称）間のニツ森トンネル、洞爺湖の防災対策、3日目には白老防災拠点、苫東厚真火力発電所などを巡りました。台風15号の影響を受けながらも、2泊3日の見学会を完遂することができました。



📍 東海見学会 (2023/春)

我が国最大の海拔ゼロメートル地帯の濃尾平野を舞台に、治水の歴史や将来像を学びました。1日目には木曾川水系に注目し、揖斐川御砂樋管改修工事や高須輪中排水機場、既存ダムに対して嵩上げ工事を行う新丸山ダムを、2日目には豊川水系に注目し、豊川用水の西部幹線併設水路、大野導水併設水路、大野頭首工などを見学しました。



📍 北関東見学会 (2022/春)

新型コロナウイルスの流行がやや落ち着いてきた頃、2019年の北海道見学会以来となる学生企画見学会が実現しました。この見学会では、関宿水閘門、渡良瀬遊水地、現在も建設中の南摩ダムの順に、利根川水系に関わる治水施設を、歴史を遡るようにして見学しました。日帰りではありましたが、留学生を含め多くの学生が参加しました。



● これまでの歴史

No.	開催時期	開催地	主な見学先
1	2016/春	台湾	烏山頭ダム、台南水道、921地震教育園ほか
2	2016/夏	岡山	閑谷学校、百間川河口など津田永忠の功績巡り
3	2017/春	神戸・和歌山	布引・五本松ダム、稲むらの火の館など濱口梧陵の功績巡り
4	2017/夏	糸魚川	新青海川発電所、デンカ工場ほか
5	2017/夏	立山	立山カルデラ砂防博物館、本宮堰堤ほか
6	2018/春	東北	陸前高田復興商店街、気仙沼横断橋、大熊町除染現場ほか
7	2018/夏	新潟	アオーレ長岡、大河津分水路、新潟中越地震被災地ほか
8	2019/春	九州熊本	通潤橋、新阿蘇大橋、立野ダム、小石原川ダムほか

ここでご紹介した学生企画見学会の一部については、「見学会報告書」という形で纏めており、都市基盤学科のHPからご覧いただけます。右側のQRコードからHPにアクセスが可能です。



—制作—

横浜国立大学都市科学部都市基盤学科
宮谷 遼司 / 宮内 爽太 / 中嶋 駿介
上河内 廉太郎 / 矢野 誠悟